

第2回愛媛県新総合計画策定会議における委員からの意見等への対応について

ページ	原文の箇所	意見	対応	関係部局
10	適切な学びなおし(リカレント教育)や…	「リスクリング」も加えてはどうか。 〔桐木委員(事後)〕	該当箇所に、リスクリングに関する記載を追記しました。	県民環境部
40 →110	施策3 ③県内建設業者の維持・確保 建設工事のICTの推進による働き方改革や魅力あふれる建設産業づくりを通じた若者の確保	「建設業者の人材確保」がここに出てきているのは気になる。 〔大内委員〕	施策3の建設業者の内容については、施策29の「⑧防災・減災のための危機管理体制の強化」中、「災害応急対策や災害復旧の担い手となる建設業者の維持・確保」に移動して記載することとしました。	土木部
41	施策4(施策名)	「施策4 男女がともに活躍できる雇用環境の整備」の施策名について、意図で記載しているように、「性別に関わりなく」とした方が良いのではないか。 〔桐木委員(事後)〕	施策名を「性別に関わりなく活躍できる雇用環境の整備」と変更しました。	県民環境部
42	・県男女参画センターの機能拡充	新たな、具体的な予算措置はあるのか(確認)。 〔桐木委員(事後)〕	機能強化に関する特別の予算措置は行っていないため、表現を修正しました。	県民環境部
42	・ひとり親家庭の親の職業能力の開発と雇用機会の創出等	「職業能力の開発」との表現は、キャリアアップをイメージできる表現にできないか。 〔桐木委員(事後)〕	「ひとり親が子育てしながらでも社会・企業で活躍できるような技能・技術の習得に向けた支援」に修正しました。	保健福祉部
50	施策7	施策7について、近年は、働きたいと考えるシニアのニーズとか価値観とかが変わってきているにもかかわらず、現在の書き振りとこれまでの延長でしかない。 〔大内委員〕	〔保健福祉部〕 施策7に、次のとおり追記しました。 ②高齢者の生きがいづくり ・「第35回全国健康福祉祭(ねんりんピック)えひめ大会」の開催及び同大会の開催を通じた高齢者の生きがいの創出 ・地域課題への対応など、地域の担い手として期待される老人クラブの育成・指導や活動の推進 〔経済労働部〕 御意見の趣旨を踏まえ、「シルバー人材センターを核とした就業支援」を「高齢者の多様なニーズに応じた就業支援」に修正しました。	保健福祉部 経済労働部
53~	施策9	「施策9 スポーツや文化芸術などの充実」中、スポーツ団体の女性比率、役員比率の向上やハラスメント対策強化を盛り込んでどうか。 〔桐木委員(事後)〕	○スポーツ団体の女性比率、役員比率の向上については、男女共同参画の観点から、スポーツ団体に限らず、各種団体で取り組むことが必要であり、既に施策4の「男女共同参画社会づくり」において、その趣旨を記載していると認識しております。(そのため、施策9の方では、記載しないこととします。) ○ハラスメント対策の強化については、指導者の資質に欠かせない事柄であるため、社会規範の遵守等を含めて、「資質向上」を追記しました。 ※修正箇所 県の取組み ①競技力の向上及びジュニアアスリートの発掘・育成・強化の内容 2つ目を「高度で専門的な能力を有する指導者の養成・資質向上」に修正(P53)	観光スポーツ 文化部
64~	施策13	「施策13 全ての子どもたちの学びの保障」中で、院内学級など、病気の子どもたちへの学びの保障といった観点も取り上げてほしい。 〔樫木委員〕	施策13の「課題」 「病気療養中等で登校できない児童生徒」に関する記載を追記	教育委員会
66~	施策14	あまりにも学校側に立った記述が多い気がする。学校教育において、意見の多様性に対応しなければならぬ教員の負担が増しており、家庭が担う役割を保護者向けに見える化した方が良い。 〔小林委員〕	計画の構成上、家庭や地域の連携による教育の推進は、政策1の施策2「魅力ある地域の基盤づくりと地域への定着の推進」のうち「⑤社会総がかりで取り組む教育の推進」に位置付けられていますが、なお、政策3の中にも、施策10の課題に「家庭における基本的な生活態度の習得」や、施策11の課題に「家庭や地域による通学路の見守り強化や自転車の安全利用などの交通安全意識の醸成」を、施策14の施策の方向性に「PTA等を通じた保護者・地域の理解促進」を追記しました。	教育委員会
98	施策25	「施策25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備」において、人口減少を食い止める観点からもこれからの地域交通のあり方について、市町や住民自らが考える雰囲気づくりが必要と考えており、そういった記述を加えてはどうか。 〔桐木委員(事後)〕	施策25の「課題」中、 「豊かな県民生活の実現を図るため地域公共交通の維持」との記述を「地域が自らデザインする持続可能な地域公共交通の実現」に修正しました。	企画振興部 (交通政策室)
123	施策35	「施策の方向性と主な県の取組み」の中で、 ・「GX」という言葉がもう少し入れられないか(県にもGX推進を是非後押ししてほしい)。 ・①・②中に、水素エネルギーや風力発電のことも触れられないか。 〔中原委員(事前説明)〕	施策35の「現状」中、 「脱炭素社会の実現に向けた取組みを通じた経済社会システム全体の変革(GX:グリーン転換フォーメーション)に取り組んでいます」等の記述を追加しました。 同施策「施策の方向性と主な県の取組み」中 「風力発電」「水素エネルギーの普及拡大」の旨を追記しました。	県民環境部

138	エリア構想(中予)	松山市駅周辺の再開発も入れられないか。 [桐木委員(事後)]	松山市の取組みとして、エリア構想に追記しました。	中予地方局
140	エリア構想(南予)	1「安全安心な暮らしづくり」の中で、大分県(原発関係)や高知県(津波災害)との連携の旨を記載できないか。 [桐木委員(事後)]	エリア構想において、以下のとおり修正することとしました。 「伊方発電所に係る安全・防災対策を推進し、大分県などとの連携により住民避難を多様化」 ※ただし、高知県との連携は十分行われていないため、記載しないこととします。	県民環境部 南予地方局
141	エリア構想(南予)	2「農林水産業～」の中に、真珠養殖のことは入らないのか。 [桐木委員(事後)]	「真珠・真珠母貝養殖業の再興及び海外に向けた販売拡大」の旨を追記しました。	南予地方局
73 81 132	施策16、施策19、エリア構想(東予)等関係	外国人がいないと会社や企業が回らない、定住する外国人が増えている等の状況があり、県でも相談窓口の一本化など、外国人対応を強化する取組みが見られるため、外国人との協働の観点を施策の中の方向性の一つとして取り上げてほしい。 [大森委員・田中委員]	〔観光スポーツ文化部〕 施策19「インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み」の「①海外との往来を支える基盤整備」中に「外国人相談ワンストップセンターによる在県外国人への相談機能体制の維持」の追記をしました。 〔経済労働部〕 施策16「施策の方向性と主な県の取組み」 「①産業人材力の強化」の中で、「多様な人材の活躍支援」との旨を記載しており、御意見の外国人材を含む内容としています。 〔東予地方局〕 エリア構想の「地域の現状と課題」及び「地域づくりの方向性」の部分に趣旨を追記しました。	観光スポーツ 文化部 経済労働部 東予地方局
-	施策2等関係	プロスポーツの関係について、現行計画よりも少しトーンダウンしているように見える。 [日野委員]	プロスポーツ振興については、県として引き続き積極的に支援したいと考えており、決してトーンダウンしているわけではありませんが、このままの表記では誤解を生む可能性がありますので、現計画の方向性は今後も変わらないことを分かりやすくするため、次のとおり修正・追記しました。 【施策2(P37,38)】 「貴重な地域資源である地域密着型プロスポーツの振興」 「市町や各種団体等と一体となった県民の応援機運の醸成」	観光スポーツ 文化部